

環びわ湖大学連携推進キックオフ宣言

いま、我が国では、経済をはじめ様々な活動がグローバル化するとともに、情報化や地方分権が進展する中、あらゆる社会経済システムが変革の時を迎えている。一方、大学においても少子化や大学改革により大学間の競争が一層激しくなり、そのあり方が問われている。

21 世紀は、「知の時代」とも「心の時代」ともいわれ、科学技術のめざましい発達に伴って生活の利便性が増していく一方で、かけがえのない自然と人がともに輝く生き方が求められている。このような中であってびわ湖を中心に小宇宙ともいえる豊かな自然環境や貴重な歴史遺産に恵まれ、人、もの、情報が行き交う交流の要衝として独自の文化を築き上げてきた滋賀の地は、まさに最高の学術研究フィールドであると言っても過言ではない。

この恵まれた環境を共通のキャンパスとする滋賀の大学は、それぞれが存在感のある個性輝く大学づくりを目指す一方で、相互に連携し、触発し合いながら、魅力やイメージを高め、その優位性を全国や世界に発信していかなければならない。

また、大学の「知」を生かしながら、産業界等との連携をさらに発展させることによって、地域に新たな活力を生み出す社会的な貢献が求められている。

そこで、本県に立地する 13 の大学が結集して「環びわ湖大学連携推進会議」を設置し、大学、産業界、行政、住民など広範な連携ネットワークの形成を視野に入れつつ、まず大学間や学官の連携事業の具体化に向けて、力強くその第一歩を踏み出すこととする。

連携のテーマ『知の結集による地域貢献 - 新たな魅力の創造と発信 - 』

平成 15 年(2003 年)3 月 25 日